

# 森の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト

FOREST  
SCHOOL  
BULLETIN

広島地区  
富士山地区  
福島地区

山菜&溪流魚のアウトドア料理

富士山の森のアロマボトル作り

新緑の時期の森の手入れ体験

森羅万象

森と人、森とモノをつなぎ、  
社会に貢献できる  
人づくりに取り組む

担当者から「こんにちは」

広島地区のつなぐ人

樹話  
になる

春。桜前線が日本各地を北上しています。そろそろ東北地方に到達しているのでしょうか。桜と言えはやはりソメイヨシノ。この桜は、江戸時代末期に東京の染井村（現在の豊島区駒込）の植木屋が販売を始めたと言われていました。分類上は、オオシマザクラとエドヒガンの交配種にあたり、桜の名所として有名な奈良県の吉野山とはなんら関係がありません。ではなぜ、「ヨシノ」という名前が入っているのか。一般的には、吉野山にちなんだ名前をつけることで売上増を目論んだ、すなわちブランド商法だったと言われていました。いつの時代も、変わりませぬね(笑)でもそのおかげで、こうして全国でお花見が楽しめる訳です。商魂に感謝、でしょうか。



## 4～6月のイチオシ体験プログラム！

## 森のカフェ・春編

## 山菜&amp;溪流魚のアウトドア料理

【日付】2014年4月26日(土)

【対象】どなたでも

【参加費】2,000円

(食費・保険料・プログラム費)

## 企画の背景

ろうきん森の学校周辺の自然もようやく春を迎え、里山の動植物の命がいっせいに目覚め、森は日毎に賑やかさを増しています。周辺の溪流ではアマゴ釣りが解禁。また、森の学校敷地内には、タラの芽、コシアブラ、タカノツメ、ウドなどの山菜が旬の季節を迎えます。森のカフェ・春編では、森の学校の“旬”をアウトドア料理でいただきます。

## 企画の想い

春の季節感あふれる食材を使用したアウトドア料理に舌鼓を打ち、万代池のカヌー体験や森のなかでのハンモックなど、思い思いに森のゆっくりとした時間を過ごしていただくことができます。



こんなプログラムで盛り上がりました！

## 活動報告

## 韓国忠北大学院視察研修

2月20日(木)に韓国忠北大学院山林治癒学科の学生・関係者7名が森の学校の視察に訪れました。一行は、韓国BK事業団(世界的トップクラスの大学院と優秀な地域大学育成を目的とした韓国教育部<日本の文部科学省>のプロジェクト実施団体)の支援を受けて、森林分野の専門人材を育成するこ

とを目的に2月12日に来日。長野県、和歌山県、京都府で、森林セラピーなど森林を活用した地域づくりについて学び、2月20日に広島入り。森の学校では、企業とNPO、地域の協働で里山保全活動の様子や森林を活用した体験プログラムの実施状況について講義を向けたり、実際の体験を行いました。



里山の環境保全は鳥獣害対策などの地域づくりにもつながっており、地域の人たちも一緒に取り組んでいることが印象的でした。

(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています！

## ■県労協親子ふれあい環境保全活動

【日付】2014年5月31日(土)

【対象】県労協会員

【概要】親子で森の学校を訪れ、森林整備と自然体験プログラムを体験

【参加費】無料

## ■第1回わくわく探検隊

【日付】2014年6月21日(土)

【対象】小学校4年生～6年生 20名

【概要】森の学校での自然体験、野外活動

【参加費】4回シリーズで26,000円

## ■一斉下草刈り作業

【日付】2014年6月28日(土)

【対象】大人

【概要】森の学校のフィールドの下草刈り

【参加費】無料

## ■平日作業隊

【日付】4月～6月の毎週木曜日

【対象】森の整備に興味がある方

【概要】森の学校のフィールド整備、動植物調査など

【参加費】無料

# 富士山地区



4～6月のイチオシ体験プログラム！

## 植物のチカラ

### 富士山!カラダの学校

「富士山の森のアロマボトル作り」

【日付】2014年6月29日(日)

【対象】小学生以上

【参加費】3,000円

#### 企画の背景

富士山!カラダの学校では、富士山西麓の朝霧高原・田貫湖エリアの豊かな森や湖、自然歩道、高原をフィールドに、ココロとカラダの健康増進を図る様々なプログラムを用意しております。アロマセラピーの専門家によるレクチャーがあります。

#### 企画の想い

森にある植物と塩を交互に瓶に詰め、香って嬉しい、見て楽しいアロマボトルを作ります。お風呂に入れば、バスソルトにも大変身!汗をかく季節にピッタリです。梅雨の季節、富士山麓の植物のチカラで健康に過ごしましょう。(休暇村富士宿泊の特別プランもあります。)



こんなプログラムで盛り上がりました!

#### 活動報告

### 里山のようちえん

3月15・16日に「里山のようちえん」を開催。初日は野草を詰んでピザ作り、2日目は地域のお祭りにでかけました。みんなで詰んだ野草はピザの具材、天ぷら、チジミ、おにぎりの具材、マフィンなど色々な料理に変身しました。

栄養たっぷりの野草でありながら、震災が起こって食べ物に困った時に役に立つ知識。そんなことをみんなで覚えました。

「野草のピザがおいしかった!」

「子どもを安心してスタッフにあずけられます。」

(参加者アンケートより)



他にもこんな体験が待っています!

#### ■おいしい里山物語4月 ～旬のたけのこ掘り体験～

【日付】2014年4月20日(日)

【対象】満3歳以上

【概要】旬のたけのこ掘りの後は、採れたたけのこをその場で調理して美味しく食べよう!春の里山散策も楽しめます。

【参加費】大人3,500円子ども2,500円

#### ■里山のようちえん5月

【日付】2014年5月17日(土)・18日(日)

【対象】3歳～6歳(未就学児)とその保護者 ※リピーターのみ小学2年生まで可

【概要】お米は日本人の心。富士山麓で田植えをしましょう。アイガモとどろんこ遊びも行います。

【参加費】大人13,000円、子ども9,000円

#### ■里山つなぎ隊5月

【日付】2014年5月31日(土)・6月1日(日)

【対象】どなたでも

【概要】近くの里山で竹林整備をした後、その竹を使用してオシャレな「マイ箸入れ」を作ります。

【参加費】2,000円

#### ■おいしい里山物語 6月 ～アマゴのつかみ取りと絶品塩焼き～

【日付】2014年6月14日(土)

【対象】満3歳以上

【概要】富士山の湧き水からできた清流でアマゴのつかみ取りに挑戦。自分たちでさばいて、大事な命を美味しく頂きます。

【参加費】大人3,500円、子ども2,500円



## 4～6月のイチオシ体験プログラム！

### 森の手入れ体験

【日付】2014年6月15日(日)

【対象】どなたでも

【参加費】500円



#### 企画の背景

いまから50年前頃には、どこでも行われていた里山の手入れ体験の一部を行なってもらい、手入れされた森と、手入れしていない森との違いについて実感してもらうものです。6月中旬の森は新緑の時期で虫もいないので安全に楽しみながら作業ができるはずですよ。

#### 企画の想い

毎年1回、同じような場所の手入れ体験を行うことにより、五感を通して森の変化を味わってもらうことにつなげていきたいと思っています。



こんなプログラムで盛り上がりました！

活動報告

### 自然観察会 3/16(日)

久しぶりの暖かい日差しの中、15名の参加者のみなさんと①山菜探しと自然観察会 ②シイタケの植菌体験 ③野外料理体験を実施。今回は前日から来訪された筑波大学の田村先生(土壌学)と学生さんも加わり、賑やかな雰囲気の中で実施できました。

食べられる植物(山菜)の種類が多いのにびっくり。自然を良く知ると、食生活も豊かになるのではと、感激しました。  
(参加者アンケートより)

他にもこんな体験が待っています！



#### ■山野草勉強会

【日付】2014年4月20日(日)  
【対象】どなたでも  
【概要】野外料理も合わせて体験できます！  
【参加費】500円

#### ■森林療法体験

【日付】2014年5月18日(日)  
【対象】どなたでも  
【概要】野外料理も合わせて体験できます！  
【参加費】500円



日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行なう、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。



## Information & Access & Map

<h3>富士山地区</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 袖野エリア</li> <li>■ 田貫湖エリア</li> <li>■ 御殿場エリア</li> </ul> <p><b>Information</b> NPO法人ホールアース研究所 〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://wens.gr.jp</p> <p><b>Access</b> 電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分 車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分</p>	<h3>福島地区</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 湯ノ岳エリア</li> <li>■ 岩出・好間・藤原エリア</li> </ul> <p><b>Information</b> NPO法人いわきの森に親しむ会 〒970-8326 いわき市常盤藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp HP: http://www16.plala.or.jp/goan/</p> <p><b>Access</b> 電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分 車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分</p>	<h3>広島地区</h3> <p><b>Information</b> NPO法人ひろしま自然学校 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863 E-mail: nkk2002@mac.com HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access</p> <p><b>Access</b> 電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分 車: 広島自動車道広島北I.C.より20分</p>
<p>ろうきん森の学校全国事務所   〒419-0305 静岡県富士宮市下袖野165 TEL 0544-66-0790 FAX 0544-67-0567 NPO法人ホールアース研究所   E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://www.mori-gakko.com</p>		

担当者から  
「こんにちは」

NPO法人ひろしま自然学校  
しがせいじ  
代表理事 志賀 誠治 さん

広島地区森の学校は、全く整備されていない里山10haを地主から借り受け整備するところからスタートしました。活動するための基盤整備として、作業小屋や研修施設、トイレ、水道設備などの整備に多くの時間がかかりました。9年が経過した今、基礎インフラがほぼ整備され、森林整備もほぼ終了し、遊歩道も完備したことから、たいへん過ごしやすく、プログラムの実施に適した森に生まれ変わりました。現在、子ども対象のプログラムを中心に、親子プログラム、大人向けのプログラムなどで、年間約2,000人の参加者を受け入れています。今後は、プログラムの種類や質を一層高めていきたいと考えています。合わせて、大学生のボランティアリーダーなどの育成を中心に、人材育成にも力を入れていきます。また、地元中国労金や広島県労福協との連携を大切にして、勤労者の健康増進、憩いの場となる環境づくりに力を注いでいきます。

# 森 羅 万 象

岐阜県立森林文化アカデミーものづくり講座  
准教授 久津輪 雅さん



## PROF I L E

1967年福岡県出身。大学卒業後、NHKを経て1999年より飛騨の森林たくみ塾で木工を学ぶ。2001年渡英して家具職人として働いたのち、2006年より岐阜県立森林文化アカデミーで、ものづくり分野の教育に携わる。

## 森と人、森とモノをつなぎ、社会に貢献できる人づくりに取り組む



**Q1** 岐阜県立森林文化アカデミーとものづくり講座について教えてください。

岐阜県立森林文化アカデミー（以下、アカデミー）は、2001年に開学した「森や木に関わる生き方をめざす人のための専門学校」です。森づくりを学ぶ講座の他、木造建築や環境教育、山村の活性化を学ぶ講座があります。私が所属しているものづくり講座は、木工技術を手段として社会課題の解決を目指す人を育成しています。作品づくりだけが目的ではないんです。今、「木育」という言葉が広がっていますが、森や木に触れてその価値を伝えることができる指導者が不足しています。そうした新しいニーズに応えようとしています。

**Q2** 久津輪さんはどういう経緯で森林文化アカデミーに着任したんですか？

大学卒業後、NHKに入社し社会問題を取り上げる番組制作に従事していましたが、より直接的に社会に関わりたと思い、また父親が木工の仕事で馴染みがあったこともあり、退社して岐阜県で木工の勉強をしました。その後渡英し、家具職人として働きながら、人力の道具で生の木を割ったり削ったりする古くて新しい木工、グリーンウッドワークに出会ったんです。その後帰国し、縁あって2006年からアカデミーで活動しています。

**Q3** グリーンウッドワークについて教えてください。

アカデミーの生涯学習講座の1つで、一般の方を対象に、生木を人力のみで加工し、スプーンや積み木といった簡単なもの作りから、2泊3日を2回かけて作る椅子などがあります。人気のある講座で、椅子作りはわざわざ熊本から参加した人がいました。実は、国土緑化推進機構のグリーンカレッジで松崎さんにお会いし、その縁でいわきの森に親しむ会にも指導に行っています。会員の皆さんに木を伐るだけでなく、伐った木を使う手段として活用してもらっています。



**Q4** 岐阜和傘を支える「エゴノキプロジェクト」とは？

歌舞伎や日本舞踊で使われる和傘は岐阜県が90%のシェアを持っています。2011年に岐阜和傘の職人から相談を受けたのがきっかけなのですが、和傘を支える中心部材のエゴノキを伐る人が1人しかおらず、その人が亡くなってしまい、今後和傘が作れなくなってしまう、と。エゴノキは粘り強く和傘作りには欠かせず、他では代用できません。ただ、植林されているわけではないので、岐阜県内の山を探しました。そして奇跡的にもアカデミーのある美濃市内で今までにない品質のエゴノキの群落が見つかったんです。エゴノキの伐採には全国の和傘職人や関係者に呼びかけ、これまで2回、あわせて100人以上が参加しました。



また、アカデミーの学生がこの森の成長解析とシミュレーションを行った結果、今後持続的にエゴノキが収穫できるということも分かりました。今年はシカの食害の影響も調査する予定です。エゴノキプロジェクトは、伝統工芸に使う材料を賄うため、職人たちが自ら森に入り、林業者と協力して木を伐り、森を育てるといふ、これからの時代に求められる新しい仕組みづくりの1つです。上流域（生産地）の人にその価値を伝えることで、モチベーションがとて上がりやすくなります。

**Q5** 「森の学校だより」の読者の皆さんにメッセージをお願いします。

先ほど紹介したグリーンウッドワーク講座はおススメです。是非体験しに来てください（笑）。なかなか岐阜に来られないという方は、身の回りで使うものに木でできた、良いものを使ってほしいです。曲げわっぱの弁当箱、箸箱、椅子など。特に伝統工芸品は国内の材料で作られており、材料や作り手のルーツがたどれます。例えば曲げわっぱなら、木曾（長野県）とか大館（秋田県）とか、そうした産地に興味が湧くでしょうし、実際そこを訪れて作り手や、その材料を生産している人に、使い手がそれを使う喜びを直接伝えてほしいですね。

聞き手：大武 圭介（全国事務局）